

8月3日に発生したくちのえらぶじま口永良部島の噴火活動について

- 口永良部島の火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を切替 -

口永良部島（鹿児島県屋久島町）で3日12時24分発生した噴火について、火山灰を分析した結果、マグマが直接関与していた可能性があることがわかりました。

今後、マグマが関与する噴火が発生した場合、火砕流¹⁾を伴う可能性があります。

このことから鹿児島県地域防災計画火山災害危険予測図に基づき、向江浜地区から新岳の南西及び南東側の七釜地区にかけて、火口から海岸までの範囲で火砕流にも警戒が必要であるため、本日（7日）10時00分に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を切り替えました。

口永良部島では、火山活動の高まった状態が継続しています。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、火砕流にも警戒してください。

降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。

1)火砕流とは、火山灰や岩塊、空気や水蒸気がいったいとなって急速に山体を流下する現象です。火砕流の速度は時速数十kmから数百km、温度は数百にも達することがあります。